



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 英夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 管理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,923	16.6	1,384	132.4	1,701	79.1	1,021	192.9
2022年3月期第2四半期	19,652	5.8	595	41.7	950	135.7	348	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,147百万円 (42.6%) 2022年3月期第2四半期 1,505百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	244.63	—
2022年3月期第2四半期	83.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	62,191	35,466	52.1
2022年3月期	59,935	33,693	51.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 32,386百万円 2022年3月期 30,785百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	7.6	2,300	36.1	2,700	30.9	1,400	40.6	336.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,522,933株	2022年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	340,280株	2022年3月期	355,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,174,591株	2022年3月期2Q	4,155,783株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
受注及び販売の実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、緩やかな持ち直しが続いたものの、米国における金利上昇やロシア・ウクライナ情勢の長期化などにより、予断を許さない状況で推移しました。

一方、わが国経済は、経済活動の正常化が進む中で持ち直しの動きが見られましたが、世界的な金融引締め等による下振れリスクが懸念され、未だ先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主要先である建設業界・産業機械業界の市況は好調に推移したものの、造船業界では鋼材価格の上昇が重荷となり回復に鈍化がみられました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現」に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は229億23百万円（前年同期比16.6%増）、営業利益は13億84百万円（同132.4%増）、経常利益は17億1百万円（同79.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億21百万円（同192.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、当社オンリーワン技術のDBCファイバーレーザー切断機について、従来のラインアップに加え、7月開催の2022国際ウェルディングショーにおいて、新型 高出力18KW-DBC「FIBERTEX Zero 18000-DBC」を発表いたしました。また、国内・海外市場におけるお客様の省エネルギーニーズや課題を解決する製品群の営業活動を強化したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は90億円（前年同期比43.2%増）、セグメント利益は9億31百万円（同365.1%増）となりました。

高压ガス

産業ガス分野においては、当社主要先である建設業界・産業機械業界の需要が回復するとともに、新規拡販活動に注力し、医療分野においては、酸素濃縮器のレンタルが引き続き好調に推移するとともに、営業活動の強化によりCPAPのレンタル、ディスポーザル吸引器の販売が好調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は93億16百万円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は7億59百万円（同1.4%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、鉄骨用溶接ロボット装置や溶接材料・アポロロックなどの消費財の販売が堅調に推移し、売上高は増加しました。

その結果、売上高は42億31百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益は2億98百万円（同16.8%増）となりました。

その他

その他の部門においては、光ファイバー向けヘリウム回収精製装置等の販売に注力したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は3億74百万円（前年同期比81.9%増）、セグメント利益は84百万円（同430.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は621億91百万円で、前連結会計年度末比22億56百万円の増加となりました。

流動資産合計は346億15百万円で、前連結会計年度末比10億2百万円の増加となりました。これは主に仕掛品が6億1百万円増加、商品及び製品が4億69百万円増加、原材料及び貯蔵品が4億4百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は275億76百万円で、前連結会計年度末比12億53百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が8億53百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は267億24百万円で、前連結会計年度末比4億82百万円の増加となりました。

流動負債合計は210億60百万円で、前連結会計年度末比9億72百万円の増加となりました。これは主に前受金が4億28百万円増加したことによるものです。

固定負債合計は56億63百万円で、前連結会計年度末比4億89百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が2億36百万円減少、繰延税金負債が1億64百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は354億66百万円で、前連結会計年度末比17億73百万円の増加となりました。これは主に為替換算調整勘定が8億23百万円増加、利益剰余金が7億69百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は52.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は125億41百万円で、前連結会計年度末に比べ2億44百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは22億88百万円の収入(前年同期は14億75百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益17億14百万円及び、売上債権の回収13億5百万円等によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは16億69百万円の支出(前年同期は5億31百万円の支出)となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出8億55百万円及び、有形固定資産の取得による支出4億44百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは8億31百万円の支出(前年同期は8億37百万円の支出)となりました。これは主にファイナンス・リース債務の返済による支出3億40百万円、長期借入金の返済による支出2億53百万円及び、配当金の支払額2億51百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,751	13,060
受取手形及び売掛金	10,317	9,221
電子記録債権	2,623	2,792
有価証券	—	20
商品及び製品	3,986	4,456
仕掛品	1,986	2,587
原材料及び貯蔵品	1,546	1,951
その他	681	782
貸倒引当金	△280	△256
流動資産合計	33,613	34,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,769	3,809
機械装置及び運搬具(純額)	907	854
工具、器具及び備品(純額)	844	919
土地	6,462	6,474
リース資産(純額)	1,024	887
建設仮勘定	37	265
有形固定資産合計	13,047	13,210
無形固定資産		
のれん	23	18
リース資産	4	4
その他	277	376
無形固定資産合計	306	399
投資その他の資産	12,968	13,966
固定資産合計	26,322	27,576
資産合計	59,935	62,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,176	6,445
電子記録債務	3,427	3,661
短期借入金	4,432	4,674
1年内返済予定の長期借入金	469	452
未払法人税等	536	536
賞与引当金	537	531
役員賞与引当金	72	35
受注損失引当金	42	66
製品保証引当金	125	137
その他	4,268	4,518
流動負債合計	20,088	21,060
固定負債		
長期借入金	1,721	1,485
役員退職慰労引当金	149	56
退職給付に係る負債	205	214
資産除去債務	15	15
その他	4,061	3,891
固定負債合計	6,153	5,663
負債合計	26,241	26,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,332	2,332
利益剰余金	20,847	21,617
自己株式	△814	△777
株主資本合計	26,394	27,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,360	2,342
繰延ヘッジ損益	△22	△1
土地再評価差額金	864	858
為替換算調整勘定	876	1,699
退職給付に係る調整累計額	312	285
その他の包括利益累計額合計	4,390	5,184
非支配株主持分	2,907	3,079
純資産合計	33,693	35,466
負債純資産合計	59,935	62,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	19,652	22,923
売上原価	13,882	16,140
売上総利益	5,769	6,782
販売費及び一般管理費	5,173	5,398
営業利益	595	1,384
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	65	81
受取賃貸料	168	174
持分法による投資利益	0	10
物品売却益	32	48
為替差益	3	74
貸倒引当金戻入額	39	13
雇用調整助成金	116	—
その他	44	29
営業外収益合計	483	444
営業外費用		
支払利息	43	38
賃貸費用	72	77
その他	12	12
営業外費用合計	129	128
経常利益	950	1,701
特別利益		
固定資産売却益	28	23
関係会社清算益	0	—
特別利益合計	29	23
特別損失		
固定資産除売却損	2	0
減損損失	8	8
建物解体費用引当金繰入額	8	—
その他	5	1
特別損失合計	23	10
税金等調整前四半期純利益	955	1,714
法人税、住民税及び事業税	310	525
法人税等調整額	56	△84
法人税等合計	367	441
四半期純利益	588	1,273
非支配株主に帰属する四半期純利益	239	251
親会社株主に帰属する四半期純利益	348	1,021

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	588	1,273
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	602	△13
繰延ヘッジ損益	△5	21
土地再評価差額金	—	△5
為替換算調整勘定	345	898
退職給付に係る調整額	△25	△26
その他の包括利益合計	917	873
四半期包括利益	1,505	2,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,231	1,815
非支配株主に係る四半期包括利益	273	331

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	955	1,714
減価償却費	801	800
株式報酬費用	6	5
減損損失	8	8
のれん償却額	4	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△40	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	56	△25
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30	△37
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△15	19
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△13	5
建物解体費用引当金の増減 (△は減少)	8	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15	△92
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△4	△26
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△17	△17
受取利息及び受取配当金	△77	△94
支払利息	43	38
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△10
固定資産除売却損益 (△は益)	△26	△23
売上債権の増減額 (△は増加)	862	1,305
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,005	△978
仕入債務の増減額 (△は減少)	373	292
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27	△188
その他	△200	79
小計	1,643	2,766
利息及び配当金の受取額	110	93
利息の支払額	△48	△44
法人税等の支払額	△230	△526
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,475	2,288

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△289	△318
定期預金の払戻による収入	294	240
有形固定資産の取得による支出	△508	△444
有形固定資産の売却による収入	61	47
無形固定資産の取得による支出	△15	△135
投資有価証券の取得による支出	△12	△855
投資有価証券の売却による収入	3	—
関係会社株式の取得による支出	—	△166
貸付けによる支出	△10	△36
貸付金の回収による収入	—	0
その他	△55	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△531	△1,669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△25	57
長期借入金の返済による支出	△283	△253
長期借入れによる収入	103	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△386	△340
自己株式の取得による支出	△103	△0
自己株式の売却による収入	126	31
配当金の支払額	△207	△251
非支配株主への配当金の支払額	△61	△74
財務活動によるキャッシュ・フロー	△837	△831
現金及び現金同等物に係る換算差額	148	457
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	253	244
現金及び現金同等物の期首残高	10,571	12,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,824	12,541

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	6,285	8,979	4,180	19,445	206	19,652	—	19,652
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,285	8,979	4,180	19,445	206	19,652	—	19,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	6,285	8,979	4,180	19,445	206	19,652	—	19,652
セグメント利益	200	749	255	1,204	15	1,220	△624	595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△624百万円には、セグメント間取引消去61百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△638百万円、棚卸資産の調整△36百万円、その他の調整額△10百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	9,000	9,316	4,231	22,548	374	22,923	—	22,923
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,000	9,316	4,231	22,548	374	22,923	—	22,923
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,000	9,316	4,231	22,548	374	22,923	—	22,923
セグメント利益	931	759	298	1,988	84	2,072	△688	1,384

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△688百万円には、セグメント間取引消去74百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△695百万円、棚卸資産の調整△84百万円、その他の調整額17百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の実績

(1) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
機械装置	7,801	124.6	7,930	132.3

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(2) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	前年同四半期比(%)
機械装置(百万円)	9,000	143.2
高压ガス(百万円)	9,316	103.8
溶接機材(百万円)	4,231	101.2
報告セグメント計(百万円)	22,548	116.0
その他(百万円)	374	181.9
合計(百万円)	22,923	116.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。